

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和5年1月27日

「手づくり郷土賞」認定証伝達式を鶴居村で開催します

～「特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会」が一般部門を受賞～

令和4年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)の認定証伝達式を、以下のとおり鶴居村において開催します。

伝達式では、北海道開発局長から受賞団体(美しい村・鶴居村観光協会)に認定証及び副賞の楯をお渡しします。(式次第は「別添1」参照)

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「手づくり郷土賞」(別紙「参考資料」参照)として表彰しています。

令和4年度は全国各地から応募のあった一般部門29件の中から、優れた取組として北海道内から「美しい村・鶴居村観光協会」が選定されました。(活動の詳細は「別添2」参照)

【認定証伝達式】

受賞件名: ”美しい村”鶴居のサイクルツーリズム

～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～

受賞団体: 特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会(鶴居村)

日時: 令和5年2月3日(金) 10:00～

場所: 鶴居村役場 1F 応接室(阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1)

※伝達式(認定証伝達・副賞贈呈)は公開で行います。取材を希望される方は、「別添3」の申込書により1月31日(火)17時までにお申し込み願います。

※取材される場合は、伝達式開始時間の5分前(9:55)までに会場にお越しください。

※記念撮影終了後に、受賞団体との取材時間をご用意します。

※新型コロナウイルス感染対策のため、取材の際にはマスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によって、開催方法の変更又は開催中止となる場合があります。その場合は取材を希望されている方へ、前日までに連絡をさせていただきます。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発調整推進官 藤田 純一(内線5475)

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 風間 隆之(内線5470)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和4年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」認定証伝達式

受賞件名 ”美しい村”鶴居のサイクルツーリズム
～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～

受賞団体 特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会

日 時 : 令和5年2月3日(金) 10:00～10:30
場 所 : 鶴居村役場 1階応接室
(阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1)

1. 開 式
2. 認定証伝達・副賞贈呈 (北海道開発局長)
3. 挨拶 (北海道開発局長)
4. 祝 辞 (鶴居村長)
5. 閉 式
6. 記念撮影

令和4年度 手づくり郷土賞 認定案件概要(北海道内)

【一般部門】“美しい村”鶴居のサイクルツーリズム (北海道・鶴居村)
～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～



まちなかサイクリング
(ブドウ畑のある風景)



秋はタンチョウ見ながら、
サイクリングも

<活動内容>

鶴居村は観光資源に恵まれているが、観光による地域経済への波及効果が限定的なため、経済の活性化、観光客との交流による村民の郷土愛を育むことを目的として、サイクルツーリズムの推進に取り組む。村の景観や食を楽しむサイクルマップの作成や酪農体験等を用意するなど観光客の滞在時間を延ばし、村民との交流機会を作っている。村内宿泊客向けに電動自転車を無料で貸出すモニターツアーでは、約2,500人の村で毎年200人以上の観光客が、村道や林道におけるサイクリングなどを楽しみ、村での滞在を満喫するなど、観光振興に寄与している。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会

北海道開発局 開発調整課 宛 (FAX 011-709-9215)

申込書（報道関係者）

令和4年度 手づくり郷土賞認定証伝達式

日 時：令和5年2月3日（金）10時00分～
場 所：鶴居村役場 1F応接室（阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1）
受賞件名：“美しい村”鶴居のサイクルツーリズム
～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～
受賞団体：特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会

氏 名

住 所

所属（会社名等）

連 絡 先

- ※ ご提供いただいた個人情報は、令和4年度手づくり郷土賞認定証伝達式に関する連絡以外では使用しません。
- ※ 新型コロナウイルス感染対策のため、取材の際はマスクの着用をお願いします。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によって、開催方法の変更又は開催中止となる場合があります。その場合は取材を希望されている方へ、前日までに連絡をさせていただきますので連絡先は必ず記載をお願いします。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和4年度で37回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和4年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	小浦 久子	神戸芸術工科大学 芸術工学部環境デザイン学科 教授
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授

(敬称略)